

案審査

町長提出議案は、文教民生常任委員会で4件、総務建設産業常任委員会で9件をそれぞれ審議し、すべて原案どおり可決しました。

以下は、議員が町の執行部（町長以下町の職員）に質問したものの抜粋です。

文教民生 常任委員会



プラスチック減容固化装置で固化処理したもの

●放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブ費の減額についての説明を。

答 見込んだ児童クラブの支援員を確保できなかったため臨時職員の賃金を、1200万円ほど減額した。新聞折り込みなどを、8回入れ、新規の

支援員を25人確保できなかった、退職した支援員が20人いたり、フルタイムで働けないといった事情もあつたりしたため。

●児童手当

問 児童手当が減額しているが、児童手当の受給

年齢と受給者の割合は。

答 児童手当は、ゼロ歳から中学校を卒業するまでが支給の対象となる。

ゼロ歳から2歳までが全体の12%で、残りが3歳から中学生まで。今年度8億5700万円の予算だったが、3300万円減額した。

●クリーンセンター

問 クリーンセンターの光熱水費の増額の要因は。

答 近年の原油価格の高騰により、電気料金が増えたため、371万円を増額補正した。

《構成メンバー》

| | | | |
|------|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 五味雅美 | 戸張光枝 | 藤原義春 | 上野克也 |
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 山本重幸 | 青木久男 | 大沢淳 | 上野尚徳 |



クリーンセンターの中央制御室を視察しました

●保険者機能強化推進交付金

問 保険者機能強化推進交付金の内容は。

答 国により今年度創設

された交付金で、高齢者の自立支援や重度化防止を目的に、健康づくりや介護予防事業に使うため406万円計上した。

常任委員会での議

総務建設産業 常任委員会

●歳入（一般会計補正予算）

問 放課後児童健全育成事業費補助金の減額理由は、
は、
答 支援員の確保ができなかったために不用額となった。

●税の収納率

問 滞納繰越分の収納率を上げるために、差し押さえや実地調査等、増やした施策は。
答 担当職員を増やすこと等により滞納繰越の調査が進んできた。

●駅舎バリアフリー

問 工事が減額になった理由は。
答 人件費や鋼材等の物品関係等の価格上昇を見越した予算を組んだが、不要となった。

●保留地の売却

問 計画されていた売却面積と未売却地は。
答 合計20区画、1239・2平方メートルが1月末の時点で買い受け申し込みや契約に至っている。当初計画した未売却の保留地は来年度販売する。



町道認定された細田山区内の道路

●観光協会の職員派遣

問 職員を派遣する理由は。
答 公益的法人等で地方公共団体が人的援助を必

《構成メンバー》

| | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 水上市邦雄 | 委員 | 奥田とみ子 |
| 副委員長 | 栗原恵子 | 委員 | 加藤利明 |
| 委員 | 中原敦子 | 委員 | 村山正弘 |
| 委員 | 齋藤照夫 | 委員 | |



町道認定された希望ヶ丘団地内の道路

●職員の勤務時間、休日および休暇

問 時間外勤務の規制内容は。
答 時間外勤務の上限は、
要と認めた団体のため、対応する。
月45時間、かつ1年で360時間。今後、是正のため健康確保措置の強化、超過勤務時間の適切な把握、要因の整理分析等を規定する予定。